

2003年6月18日

## 「(財)医薬資源研究振興会」平成15年度研究助成について

「財団法人医薬資源研究振興会」(理事長：藤澤友吉郎)の平成15年度の研究助成金・奨励金交付先が決定されましたので、お知らせします。

平成15年度の研究助成金と奨励金の交付につきましては、理事および選考委員の推薦だけでなく、平成12年度に開始した一般からの公募も加えて選考しました結果、下記の通りとなりました。

公募につきましては、今回、多数の応募がありました。各選考委員による事前審査、選考委員会での最終審査の結果、研究助成と研究奨励の合計で11件の交付を決定致しました。

なお、当財団についてより詳しい内容をお知りになりたい方は、当財団のホームページ(<http://www.fujisawa.co.jp/isiken/>)をご覧ください。

〔記〕

### I. 研究助成金・奨励金交付の内訳

	推薦部門		公募部門		合計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
研究助成	8件	800万円	5件	500万円	13件	1,300万円
研究奨励	8件	400万円	6件	300万円	14件	700万円
合計	16件	1,200万円	11件	800万円	27件	2,000万円

### II. 平成14年度研究助成金・奨励金交付先

#### 1. 推薦部門 研究助成金交付先

五十音順 敬称略

順位	所属機関	代表研究者	役職	研究題目
1.	千葉大学大学院	おの かげよし 小野 景義	助教授	徐脈薬の新しいターゲットとしての心筋ペースメーカーIst電流の内因性調節機序の解明
2.	京都大学大学院	きた けいこ 喜多 恵子	教授	制限酵素の塩基配列認識機構の解明と遺伝子病治療への応用
3.	国立循環器病センター研究所	さわむら たつや 沢村 達也	室長	酸化LDL受容体LOX-1の酸化ストレス関連疾患における意義
4.	東京農工大学	たなか けん 田中 健	助教授	$\alpha$ , $\beta$ -不飽和環状ケトン類の高原子効率合成法の開発
5.	京都大学大学院	なかがわ たかゆき 中川 貴之	助手	薬物依存時の精神変容における脳内グリア細胞の役割に関する研究
6.	国立医薬品食品衛生研究所	なかざわ けいいち 中澤 憲一	室長	原子間力顕微鏡を用いた医薬資源開発のための基礎研究

7.	東京大学大学院	なかじま はるし 中島 春紫	助教授	Aspergillus oryzaeの低分子量疎水性タンパク質ハイドロフォビンの細胞表層局在化機構と機能解析
8.	お茶の水女子大学	やまだ しんじ 山田 眞二	教授	カチオン-π相互作用を利用する含窒素複素環化合物の立体選択的合成

2. 推薦部門 研究奨励金交付先

五十音順 敬称略

	所属機関	代表研究者	役職	研究題目
1.	名古屋大学大学院	あおい けいご 青井 啓悟	助教授	多分歧高分子に基づく遺伝子輸送担体の開発
2.	大阪大学大学院	こばやし あやこ 小林 綾子	講師	ペプチド輸送性ABC蛋白質の基質スクリーニング系の構築
3.	長崎大学大学院	たにむら すずむ 谷村 進	助手	癌細胞の浸潤転移を阻害する植物由来ポリフェノールの探索
4.	京都大学大学院	たまむら ひろかず 玉村 啓和	講師	癌およびエイズをターゲットとしたCXCR4アンタゴニストの創製研究
5.	大阪薬科大学	ともお こうじ 友尾 幸司	助手	新規抗ガン剤の開発を目指した蛋白質生合成開始因子4Eの機能制御機構の解明
6.	京都大学大学院	なかつ とおる 中津 亨	助教授	酵素反応に基づく創薬基盤の開発
7.	千葉大学大学院	はた まさゆき 畑 晶之	助手	薬物代謝酵素シトクロムP450の基質酸化部位特異性に関する研究
8.	北里大学	ふるち たけみつ 古地 壯光	助手	ステロイドホルモン産生に及ぼすD-アスパラギン酸の影響

3. 公募部門 研究助成金交付先

五十音順 敬称略

	所属機関	代表研究者	役職	研究題目
1.	東京医科歯科大学	おがわ よしひろ 小川 佳宏	教授	レプチンの糖脂質代謝亢進作用の分子機構の解明-新しい抗糖尿病・抗高脂血症創薬ターゲットの探索にむけて-
2.	熊本大学	くめ しょうえん 桑 昭苑	教授	ES細胞から内胚葉幹細胞への分化制御
3.	大阪大学	ささい ひろあき 笹井 宏明	教授	スピロ骨格を有する新規不斉触媒を用いた非天然型光学活性アミノ酸誘導体の効率的合成研究
4.	大阪大学	たかぎ じゅんいち 高木 淳一	教授	インテグリン膜貫通ドメインの構造とそのシグナリングにおける役割
5.	金沢大学	やまだ きよふみ 山田 清文	教授	神経精神疾患における組織プラスミノゲン活性化因子の役割の解明

4. 公募部門 研究奨励金交付先

五十音順 敬称略

	所属機関	代表研究者	役職	研 究 題 目
1.	熊本大学大学院	いけみず しんじ 池 水 信 二	助教授	T細胞増殖因子と受容体の構造を基にした認識機構の解明
2.	岡山大学	おおつか ふみお 大 塚 文 男	助手	骨形成蛋白 (BMP) を利用した卵巣機能障害に対する早期診断および治療応用への試み
3.	大阪大学	ゲ(わだ) ホンスン 孫(和田) 戈虹	助手	破骨細胞における分泌性リソソーム・形質膜のダイナミクス
4.	京都大学	しのはら たかし 篠 原 隆 司	助教授	哺乳類由来精子幹細胞の培養・遺伝子操作技術の確立
5.	東北大学大学院	たかす きよせい 高 須 清 誠	助手	触媒的多連続反応による多置換ピペリジンの実用的合成法の開発と中枢作用物質の探索
6.	名古屋市立大学 大学院	はり よしゆき 張 功 幸	助手	シ riluzin を用いた新規生理活性物質候補化合物の簡便な合成

**Ⅲ. 医薬資源研究振興会**

(財)医薬資源研究振興会は、昭和 21 年 11 月に故藤澤友吉〔当時 藤沢薬品工業(株)社長〕の出捐によって医薬資源の開発に関する研究を主目的として設立された財団法人医薬資源研究所が、昭和 48 年 10 月に助成財団に改組されたものであります。同振興会は昭和 47 年以来、毎年研究助成活動を行っており、具体的には研究助成金および若手研究者を対象とする研究奨励金を交付しています。概要については、下記の通りです。

名 称	財団法人 医薬資源研究振興会
所 在 地	大阪市中央区道修町 3 丁目 4 番 7 号
代 表 者	理事長 藤澤友吉郎〔藤沢薬品工業(株)取締役相談役〕
財団の目的	医薬資源の発見、開発に関する基礎及び応用研究を奨励し、医学・薬学その他関連自然科学の進歩発展に寄与し、ひいては厚生福祉に貢献することを目的とする。
事 業 内 容	1. 医薬資源の発見、開発に関する基礎及び応用研究の奨励並びに助成 2. 未利用資源の調査並びにその利用化に関する研究の奨励並びに助成 3. 刊行物の発行及び講演会、講習会の開催並びにその援助 4. その他財団の目的達成に必要な事業

以 上